

の日浅きにも拘はらず、其の技倆には見るべきものがあつた。加之氣概に富んだ相撲であつた。願はくは將來益々奮つて我が角力部をして斯界の覇權を握らしめよ。

◇一年級三人拔

第一回三人拔勝者 江龍喜代三郎
第二回三人拔勝者 上野
第三回三人拔勝者 長谷川
第四回三人拔勝者 知田

◇一年級五人拔

五人拔勝者 江龍喜代三郎

時に十時十分

◇二年級一本勝負

1 (田原) ○ 2 (那須) ○ 3 (岡崎) ○ 4 (池田) ○
5 (中藤) ○ 6 (中宮村) ○ 7 (西澤) ○ 8 (小野) ○

總員十二名とは如何にも貧弱ではないか。尤もそれが元氣の満ちて男らしい角力であれば何とも言はないが、斯様な有様では注意せずには居られないのだ。二年級の人々よ、君等は來年度は本校の中堅となり上級生の部に入るのではないか。さ

うして下級生の範となるべきでないか。然るにこの有様は何事だ。實に一年級に劣るでないか。相撲一つ取れない男は駄目だ。これから大ひに活動しようとするのではないか。こんな事では心細い。こんな青年は青年ではない、頭の黒い老人である。精神的に於ける老耄である。願はくば意氣地の有る元氣激渃な三年級となられん事を。併し中にきびぐした取口は見物人に多大の満足を與へた。加ふるに禪一つは意氣地の無い二年級の中には異彩を放ち、これ又觀衆に満足を與へた。記者は此の如き人物の多からん事を望むのである。

◇二年級三人拔

第一回三人拔勝者 藤本

第二回三人拔勝者 山岸

◇二年級五人拔

五人拔勝者 西澤五郎

時に十一時二分前

◇三年級一本勝負

1 (辻) ○ 2 (岩泉) ○ 3 (長谷川) ○ 4 (若林) ○
5 (田中) ○ 6 (北村) ○ 7 (笠原) ○ 8 (堀川) ○

流石は本校の中堅だけあつて割合しつかりして居る。三年級としては恥づかしくない。相撲は上手に越した事は無いが、學生角力としては寧ろ元氣激渃な方が望ましい。どちらかと云ふと三年級は後者で男らしいと云ふ所に値打がある。伊吹辻の取組から角力らしい氣分になつて来て觀衆も手に汗を握り固唾を呑む様になつて來た。

◇三年級三人拔

第一回勝者 伊吹

第二回勝者 種村

第三回勝者 梅本

◇二年級五人拔

第一回勝者 西澤久一郎

第二回勝者 種村誠一郎

時に拾二時十五分前。以上午前の部、晝食。午後

○時三十分より午後の部開始。

◇四年級一本勝負

1 (中村) ○ 2 (村尾) ○ 3 (宮内) ○ 4 (朽木) ○

本會記事

次いで四年級三本抜
第一回勝者 吉川
第二回勝者 枯木
第三回勝者 吉川
第四回勝者 草野

次いで五人抜に移つたが、勝負容易に決せず蛟龍雲を得て雲中に玉を争ふが如くに、倒れては起き、起きては倒れるといふ有様であつたが、遂に月桂冠は藤井の得る所となつた。四年級の諸君に一言感謝します。諸君本年度の角力大會を飾るべく多數出て下さつた事を我々理事は心から喜んで

居る次第です。頗はくは將來も相變らず奮つて出られん事を。時に一時十分。

引き續いて五年級の力士土俵に現れて盛んに稽古を始めた。其の技量、其の元氣、流石は本校の花形たる五年級よと思はしめた。午後一時半少し前愈々本勝負に移つた。

◇五年級三番勝負

- 1 (青木) 上野 ○ ○
- 2 (野口) 北澤 ○ ○
- 3 (田宮) 小堀 ○ ○
- 4 (原田) 青木 ○ ○
- 5 (音瀬) 田井中 ○ ○
- 6 (大橋) 西依 ○ ○
- 7 (北川) 力石 ○ ○
- 8 (伊藤) 錦波 ○ ○
- 9 (富田) 須藤 ○ ○
- 10 (川添) 堀江 ○ ○
- 11 (竹原) 杉本 ○ ○
- 12 (音瀬) 西依 ○ ○
- 13 (西山) 墓 ○ ○
- 14 (山本) 富永 ○ ○
- 15 (音瀬) 宮川 ○ ○
- 16 (北澤) 北澤 ○ ○

◇五年級三人拔

- | | |
|----------|-------|
| 第一回三人拔勝者 | 音瀬錦治 |
| 第二回三人拔勝者 | 西山利員 |
| 第三回三人拔勝者 | 西依孝太郎 |
| 第四回三人拔勝者 | 宮川英二 |
| 第五回三人拔勝者 | 原田政藏 |
- 第一回五人拔勝者
第二回五人拔勝者

◇同 五人拔

宮川英二

杉本義三郎

第三回五人拔勝者 宮川英二
五年級としては少ないといふ感は無い事は無いが、意氣ある貫徹した相撲といふ點に於ては流石は五年級だけあつて優れて居た。斯くして午後三時城山の鐘と共に無事閉会した。



會計報告

大正十年度校友會費

收入決算書

科 目	豫算額	決算額	比較ノ差
新 入 會 金	二五八六七	二五八六七	
預 金	二三七〇〇	二三七〇〇	
職 員	一六〇〇〇	一六〇〇〇	
生 徒	一六〇〇〇	一七一七〇	一〇七七〇
改 造 費	一〇〇〇〇	一七一七〇	七一七〇
短 舟 庫	一〇〇〇〇	一七一七〇	七一七〇
臨 時 費	一〇〇〇〇	一七一七〇	七一七〇
庫 临时醸金	一〇〇〇〇	一七一七〇	七一七〇
計	九五二二四五七	九五二二四五七	

大正十年度校友會費支出決算書

科 目	豫算額	決算額	比較ノ差
勅語三十年記念文庫	八三七〇	八三七〇	
短艇改造費積立	二〇六六元七	二〇六六元七	
同 今年度積立	三〇〇〇〇	四九八四〇	一九八四〇
野球防禦費積立	五八六四七	五八六四七	
計	一〇〇〇〇	九五二二四五七	九五二二四五七

大正十一年度校友會費

科 目	豫 算 額	決 算 額	比較ノ差
前 年 度 繰 越	一二元二三	一零〇〇〇	一二元二三
新 入 會 金	一一八九	一一八九	一一八九
預 金 利 子	一八二〇〇	一八二〇〇	一八二〇〇
職 員 酒 金	五七〇〇〇	五七〇〇〇	五七〇〇〇
生 徒 酒 金	五三六〇〇	五三六〇〇	五三六〇〇
計			

大正十一年度校友會費
支出豫算書

科 目	豫 算 額	決 算 額	比較ノ差
短 艇 改 造 費 繰 越	大空望〇	二〇〇〇〇	大空望〇
同 本 年 度 積 立	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇
野 球 防 繁 費 繰 越	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇
同 本 年 度 積 立	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇
記 念 文 庫	さう〇	さう〇	さう〇
學 藝 部			

整 計	豫 算 額	決 算 額	比 較 ノ 差
臨時大會費	一一五五五	一一五五五	一一五五五
運動具費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
球類費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
上大會費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
上地費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
水陸運賃	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
足步費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
武道部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
角力部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
庭園部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
野球部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
水球部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
遠足部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
雜誌部費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇

一一五五五
五三六〇〇



通 信

寮の窓から

鳥取高農

東野太一郎

思ひ出すと私がなつかしい金龜城下に立つ母校に暇を告げ龜の甲形の徽章に白線一筋附けた帽子を捨てたのも早や一年半の昔となりました。

母校を出て他地に行つても何人も一番自分等に印象を與へて呉れた母校を偲ばない人は恐らくないでせう。見知らぬ土地に居ても學生の姿を見る時は自分の過去を追憶して一人瞑想に耽る事も少くありません。一年半と口で言へば随分短い様に見へますが、然し其間に於ての移り變りは少々ではないでせう。私が少ない波瀾の後此處に落ちついた其間に、母校は以前と變りなく立ち、城山の松は常の様に緑色で、濠も何度も洗濯してもらつても相變らず穢いことでせう。

けれど其間に起きた嬉しいこと悲しいことは一

二ではないでせう。曰くボートに優勝、曰く庭球に優勝、曰くボートに怨を呑んで敗る。曰く野球に怨を呑んで勝をゆづり次いで見る優勝。其等のこの起りは數限りないことでせう。又年中行事も種々進歩した方法で行はれた事でせう。そんなことを寮の窓から何と云ふことなしに考へて居る時は實際今尙母校に在る様な氣が致します。

一年半を経た私にも幾度もの経験を経た後の春が巡つて來ました。今では廣い／＼天地の間に在る一平野内に建てられた百姓學校の中で満足に何不足なく暮して居ります。或時は終日實習で稻刈を命ぜられて手の筋がはりさかむけが出来る位ですが、それを終つて風呂へ入り御飯をたべる時の美味しさ何とも言へません。そこへそのあくる日は疲勞休みと云ふ具合で休みと聞いて喜ばぬ者は一人もなく、何處へ行つても人の心理は同じものかなあと合點かれます。

廣い／＼海上を自分の所有物の様に舟で乗り廻して居るのも、自然に接する點に於ては農場で鍛振り上げて汗を流して居るのと變りはないでせう

實際肥かつぎ除草作物の手入れ田植小麥蒔と勞動しつゝ自然に接して其を成長させ收穫物を見る時何とも言へぬ神祕的な心地で埋れてしまひます自己と云ふものを見出し派出でないこの農業に趣味を持たるゝ人の來り共々其道に進まるゝ事を御祈りします。

過去と云へば遠い昔の様ですが去年商船學校を受験した時の事に就て少し述べさせて頂きます。

そして失敗話を赤裸々に言つて又受験せらるゝ諸君の御参考に供したいと存じます。

三月二十六日東京へ着いて其日直ぐ商船學校の門をくぐり校内に繋がれて居る明治大帝御乗船の明治丸を右手に眺め沖合遙に浮ぶ練習船大成丸を望み先輩で當校に入學して居らるゝ熊瀬川兄に面會して種々御話を聞き宿にかへりました。二十八日午前八時頃體格検査の爲學校に行きました。其日は雪が降り冷かな風が吹いて一層寒さを増し學校では火の氣なしで震へて居りました。受付で宿所届を出し登校した事を紙に書いて出しました。午前九時より登校順に身體検査です。場所は講堂

でスチームが取つてあるので暖く學校に緣故の有る人々の寫真を室内に掲げて有りました。目で不合格となり相なのを漸く通過して他は無事に合格し學術試験に關する注意書を貰つてかへりました。それより三日後の四月一日二日の兩日は第一次學術試験で英譯和英三角代數でした。一日は英譯代數でしたが英譯は五十點以上は有ると思つて居ました。代數は八題中五題は自分にも出来たと確信して居ました。

二日は和英三角で和英は例の通り不得手ですから四十點位も有ればよかつた位です。三角は學校に居る時から好きでしたからうんと出来るつもりで試験場へ行きましたが問題を見て段々解いて行きましたが八題中で三題はどうしても出来ませんでした。

先づ第一次試験は済んだものの、不合格でないかと氣をもんで居ました。それから八日後の十一日は第一次試験合格者の発表及試験です。幸に私も合格者の一人となり非常にうれしくおどり立つ胸を押へて居ました。第二次試験は二日あつて十一

日は幾何國語十二日は口頭試問及服の寸法を取るのです。國語はどれ丈出來たか分りませんが幾何は六題中二題しか出來ませんでした。もう駄目とあきらめて居りましたものゝ矢張り發表日が待たれました。發表の當日登校しましたけれど自分の名前は案の如く出て居ないので悲觀して宿にかかりました。何度も試験に失敗しましたが其時殘念な事は有りませんでした。殘念に思ひながら自分が云ふものをよく振返つて見て遂に怨を呑んで志望方面を斷念し新方面を求める上なると變つたのです。

商船の春季は秋季より志望者も少く試験も受易いそうですが其時は志望者七百十三人體格合格者六百人餘第一次試験合格者百九十人餘でした。熊瀬川兄の話により又自分でも考へましたが、商船學校は試験には數學に重きをおくと思はれます。

國漢なんか學校で習つた丈で充分です。今後商船を受験せらるる方は數學をうんと御やりなさるべき特に三角は必要と思ひます。第二次試験でダ

グラス様幾何も充分やる必要が有り藤森さんの幾何學考へ方及解き方からよく出ますから一應見ておくのもよいでせう。今年の卒業生中から一人入学せられたそうで非常にうらやましく存じます。又熊瀬川兄も御在學ですから受験せらるゝ方に萬事好都合です。受験しようと思ふ學校に先輩の居らるゝことは非常に心強いものです。

高農のことに就ては又筆を取るとして高農は中學校で普通に勉強して居られる人でしたら入學出来ることは疑ひ有りません。

中學校に居る時の元氣と學校を出てから上の學校へ行つても(高校は別として)行かなくてもの元氣が違ひます。どうしても中學校に居る時が元氣ですから諸君もうんと在學中體格を練り基礎を作つておいてから御勉強を御祈りします。最後に母校の隆昌を祈り諸先生の御健康を祝し諸君の御勉強せられんことを御願ひします。

A 君へ

慶大高橋桂太郎

その後は長らく御無沙汰を致して居りましたが別にお變りもない事でせう。私もお蔭でどうにかやつてゐます。母校では先生も變つたでせうし、學校の事もいろいろと變つた事でせう。御暇の節にお知らせ下さい。

貴君には受験勉強に忙しい事でせう。よしや先生が學校の課業だけ眞面目に勉強すればそれでよいと云つても、自身にとつては不安心ですから、外の事もやつて見ねば、心が落ち着かない譯ですね。大いに勉強して光榮に輝く月桂冠を手に入れられんことを切に希望して止まぬ次第です。然し試験は幾分運と云ふものも手傳ひますことですし自信があつても駄目な事も、いくらもありますからね。

貧しい乍らも私も、受験の経験を持つて居ますから、それが幾分なりとも、貴君の御参考までになれば喜ばしい次第ですから、拙い筆を動かした

のです。

「受験」と云ふ言葉に、劫やかされる様になつてからと云ふものは、その事ばかり念頭に浮かんで居て、それに刺激されて勉強したものでした。然し勉強が足らなかつたのか、それとも頭が足りないのか、どちらにしても、私の勉強の結果は不満足なものでした。

自分の友人たちは、四年終了でごしくと高等學校へ入つて行つた。それだのに獨りこり残された口惜しさはお察し下さるでせう。それも自分の不勉強の結果と思へば諦めもつきますが、復讐せなければならぬと五年生の時は一生懸命に準備しましたのでした。然しそれも目的の學校に入るには未だ足りなかつたものと見ゆて、私は合格し得ませんでした。不合格だつた者の話を聞いても、またにならない事はないでせう。私の志望は大きかつたかも知れない。慥かに大きな望を抱いた、かく失敗つたのでせう。然しそれが大き過ぎたか

どうだかは今でも疑問として居ます。

受け得られるならば出来るだけ多くの學校を受

れて居ます。熟讀するのがよい事はきまつて居ます、それだのにそれが仲々實行されないので困ります。貴君の様な意志の固い方は別ですが。

私がこれから言はうと思う事は、すべて雑誌の受験記に書き盡されて居る様に思ひますから、私は賢い、そして立派な文筆の力を持つた人達が書いたものを見て、参考にされて自分の個性に合つた事をそれ等から抜いて、實行されたらよいと考へます。彼の人はかう言ふ事をして合格したから自分もせなれば入れない様に思ふのは大きな謬見です。受験記は「考へ方」「受験と學生」や「中學世界」にのつて居るのを讀めばよいでせう自分の志望の學校の受験記も大切ですが、他のも一讀する必要はあります。試験準備や試験場の事は充分説明されてゐませう。實は私は敗者の悲みも勝者の喜びも感じたのですが、却つて兩方共知る事が出来て嬉しい様な氣持ちも致します。甘いも辛いも嚙んでおけば修養にもなるでせうからこゝらで筆を更へて、慶應大學のこと

受験記にはよく「何々」「何々」と受験書を並べて、本屋の廣告の様なのがあります、あんなのに驚いて、此れだけ讀破しなければ入れないかしら等と氣遣ふのはつまらない事でせう。自分のよからうと選んだのよりは、先生のよからうと云つて下さつた方がよい事は申すまでもありません。そしてその書物を熟讀する事が肝要です。こんな事は御承知の事でせう。今更くどく申し上げる迄もない事です。受験界の受験記などに書き盡さ

を一寸お知らせ致したいと思ひます。

慶應義塾は言ふ迄もなく大教育家の福澤諭吉先生が創設せられたので最も古い學校なのです。私立學校の重鎮として、三田山上に聳々立つて居ます。今や官學萬能の思想は減び行かんとして居ます。定めし貴君も官學萬能主義を持つて居られます。然し其時は地方の學校に多い様です。

事でせう。

私も一度は左様でありますけれども自己の個性

を考へて見ると、私立を出た私と官立を出た私と

どう違ひませうか、私は飽く迄も私で個性はどこ

までも失はれないと云ふ事を斷言しても差支へな

い様に思ひます。

「慶應」と云ふ名は學校で耳に挿んだ事もあります。

何はどうもあれ入ればわかる事ですから一度は受験せられるのもよいでせう。世間では慶應の學生は遊んで許りある様に誤解されて居る様に聞きましたが、それは大きな間違で、決して左様な事はありません。體育部の活動は申すまでもありません、貴君もよく御承知の事と存じます。

何だかくどくと書きましたが、大體の意味を取つて貰へれば結構です。
それでは之れで筆を擱きます、くれぐれも御勉強下さることを希つて置きます。

高校受験の諸君に

四高文甲 野 口 正 藏

何か受験に参考になる事を書かないかとの事ですが私の浅い経験と貧弱なる頭を以て、諸君の参考になる様な事が書けるか否かは勿論疑問で御座います。けれ共他山の石以て玉を磨くべしと言ひます。私の今自身の拙文も顧ず貧弱なる経験にも

ます。

何はどうもあれ入ればわかる事ですから一度は受験せられるのもよいでせう。世間では慶應の學生は遊んで許りある様に誤解されて居る様に聞きましたが、それは大きな間違で、決して左様な事はありません。體育部の活動は申すまでもありません、貴君もよく御承知の事と存じます。

何だかくどくと書きましたが、大體の意味を取つて貰へば結構です。

それでは之れで筆を擱きます、くれぐれも御勉強下さることを希つて置きます。

頼着せずして次のことを書く所以もここから來たのですからこれを了解して下さつて一度目を通して何が御参考になる様な事があるならこれ程嬉しい事はありません。

今度受験記を書くに當つて次の各項に分つて順々に述べて見ようと思ひます。

◎選ぶべき科類

是は受験に先だち最も重大なる事であります。然るに現今只入学さへすればよいと言ふ様な考の下に或は是の重大なるべき事をあまりに考へないのでではなくらうかも思はれます。一年や二年の入学遅速のため自分の一生の方針を誤ると言ふ事は馬鹿氣な事ではありませんか。先づ入学に先き達つて自分の才能寺の事を考へ先生とも相談して熟考の上定むべきでせう。私も人の勧めるがまゝに甲類に入りましたが、法科へ志望の者には先輩等の意見を聞いて見てもどうも乙類の方が良いらしいです。是の事は大いに考ふべき問題だらうと思ひます。

幾何考へ方（三度）

この方の事は既に受験界なり、受験と學生等に、もう言ひ盡した事でこゝに私の様な経験も浅い者が喋々する必要はありますまい。只私の言ひたい事は教科書を確實にやると言ふ事です。受験準備のために學校を缺席なさる等の事は何等意味をなさぬ事でせう。今年等の問題を見ても一つとして教科書の範圍を超えた様なものはありますまい。誰でも言ふ事が教科書をしつかりやるに限る事後になつて切實に感じました。

◎受験参考書

教科書を確實にやる事でもう充分なのですが、尙餘裕のある人は試験場で氣を強うする點に於て参考書をやられるのも又良い事だらうと思ひますから、私の用ひました参考書を御参考までにあげて見ませう。

- 國語 國文解釋（半分ばかり）
- 漢文 漢文解釋（殆ど見ず）
- 英語 山崎英文解釋研究（三度）
- 数学 佐久間和文英釋十講（半分程）
- 數學 代數考へ方上下（三度づゝ）

◎試験場での注意

これも雑誌等の受験記中に言ひ盡した事ですが私の感じた事を一寸述べようと思ひます。

私は初めての受験なので試験に非常な不安を抱いておりました、而も第一日の國漢に失敗して丁度數幾何の考へ方位は目を通したら多少の利益はある事と信じます、國漢は教科書だけで充分でせう。尚受験期日間際になれば時に問題集を出してやつて見るのも力だめしになつて良い事でせう、けれ共教科書が根本である事は常に忘れずにおいて下さい。

◎其の他の事項

て行きましたがそれが非常に好結果を齎らした様です。試験場に於ては固くなるのは禁物ですがその問題を解くにあく迄熱心でなければなりません中途で断念する等の事は最も忌むべき卑劣な事です。一つの問題に全勢力を傾ける時大抵の問題は解けるものです。頑張りは何處迄も必要です。もう一つ御注意申し上ぐべき事は問題をあまり多く解かうとしない事です。數學にしても六題出来れば大抵の學校で通るのですから、その六題を正確に一點の隙のない様にする事です。多く解いても不完全なものなれば殆んど點數がなくなるのですから。

國漢については國漢を二时限でやつて了ひ、作文を一時間位は残しておくべきでせう、又國漢の問題は一度に配られます、國語一題やつては漢文のを一題やつたりするのは、精神の統一上よくないし、又時間の不經濟だと思ひます。

英語はあり餘る程時間があるのでせうから、充分考へた上美しく餘白に答案を書かれたらいゝでせう。只試場で自暴自棄になつてはならない事で

幾何考へ方（三度）

○地理 教科書

○歴史 同

○化學 答案式化學粹

以上の参考書中で山崎の英文解釋研究、藤森の代數幾何の考へ方位は目を通したら多少の利益はある事と信じます、國漢は教科書だけで充分でせう。尚受験期日間際になれば時に問題集を出してやつて見るのも力だめしになつて良い事でせう、けれ共教科書が根本である事は常に忘れずにおいて下さい。

◎試験場での注意

これも雑誌等の受験記中に言ひ盡した事ですが私の感じた事を一寸述べようと思ひます。

私は初めての受験なので試験に非常な不安を抱いておりました、而も第一日の國漢に失敗して丁度數幾何の考へ方位は目を通したら多少の利益はある事と信じます、國漢は教科書だけで充分でせう。尚受験期日間際になれば時に問題集を出してやつて見るのも力だめしになつて良い事でせう、けれ共教科書が根本である事は常に忘れずにおいて下さい。

◎其の他の事項

受験勉強をするにはやはり時間表（あまり無理のない様な）を作つてその通り行ふが一番よい方法でせう。又受験氣分を常に持つてゐる様に受験記を読むのも良い事でせう。面白い問題等は書き取つておくと後から見るのに便利でせう。又數學等にしても計算した紙等は残しておくが良いです。一日／＼積るのを見るのは此上もない愉快な事でせう。受験地に行くのは試験の前少くとも二三日がよろしいでせう。

申し後れましたが、學校の選擇も亦重大な事です。新設の高等學校は入り良いと言ふので大分行かれる人もある様ですが、大學に行つても先輩も少なくその外缺點も多くある様ですから、新設の方は止められる方がよろしいと思ひます。

◎結論

長々と述べて來ましたが、要するに第一に自分

の行くべき科類を定め、教科書によつて確實な知識を養ひ、自分の能力を知つて行くべき學校を定めて上述の注意によつて試験を受けられよと言ふのです。

後に少々入學後的事を書かうとするのですが、高等學校氣分を知る爲に一年は寮に入れられるのがよいと思ひます。そして中學時代には何か選手でもして居られると高等學校に來て非常に肩身が廣い事と思ひます。高等學校に來て何かの部の選手になるのも六年間の生活を生かす點に於てよい事だと思ひます。

長々とは書きましたが、一向要領を得なかつたかも知れません。只これによつて何か御参考になる事がありますならば幸の至りです。
時下燈火親しむべきの候。何卒御勉勵の程御祈り申します。

× × × × ×

端　艇　部

諸君ボートと言へば、昨年(大正十年)の八月を

主催の關西中等學校の端艇大會に於て御影師範に大敗し。次いで八月京大國際俱樂部主催の端艇大會に於て恥くも第一回戦に敗れ我が校の名を汚します。我校の名をして再三、天下の發揚した日であります。我々は此の日を永久に忘れる事は出來ないものであります。

されば本年度の選手も此の名譽を永久に維持せ

んと四月以來必死の猛練習を開始したのであります。選手は朝に夕に校内にバッく臺の音を響かせ、放課後は風雨を冒して彼の渺茫たる琵琶の湖にボートを浮かべ風と戰ひ、波に逆ひて鐵腕を鍛へたのであります。我々應援團幹部も、大いに應援しました。併し殘念なる哉。全校生徒の元氣の乏しきと利己主義な爲に、選手に缺員多く且選手に病氣或は其の他の故障ありし爲、眞の猛練習は出来ずして、僅か選手中の一部に過ぎなかつたのであります。されば殘念にも本年度は實に微々たる成績に終つたのであります。

五月十四日　京大の端艇大會の初陣に於て長農八商に敗れしを始めとし、同月廿八日神戸新聞社

僕の様な至つて無手腕な無經驗な者が、去る五月應援團幹部に選ばれ、同時に團長に推舉せられて爾後壹箇年間各部選手諸君並びに六百の團員諸君に對して何ら貢獻する所もなく、平凡に過した事は實に殘念で堪へられないのです。併し諸先生の御指導と諸君の眞面目とに依り、大なる失敗もなく無事に務める事の出來たのは、私の喜びとする所であります。僕等は是より此の懷しい學校、此の親しい諸君と御別れして社會の暴波と戰ふのであります。諸君どうか眞面目に勉強し、大いに運動し各部選手諸君に對して、振つて應援して下さい。僕等の何よりの希望なのです。さて去るに臨みまして運動部並びに選手に對する諸感を述べようと思ひます。

武　術　部

武術部は年々の連敗、殊に昨年の醜態に恥ぢ、此の六月來より猛練習を開始せし結果、可成の好

成績を得、漸く衆人の注目する所となつたのであります。約一週間の猛練習の後、先づ我が健兒の手腕を試さんと昨年の怨敵、長農に挑戦し、惜しくも亦剣柔共に慘敗したのであります。併し顧みるに柔道部の敗因は作戦の誤り、選手の缺員とに他ならぬのであります。仮令選手に缺員ありしとも、我々選手の主張せし如く、一般の試合の形式（點取）に依りしならば立派に復讐戦が演せられしは無論の事、併も大なるスコアにてウキンせしは必定の事であります。此の如く、上の者の失策は直接に一般の者の名譽に關するものであるから上の者も少しあは一般生徒の意見も參照し良政を施してもらひたいものである。

剣道部の敗北は實力の相違如何ともする事が出来なかつたのであります。

次いで八月の京都武徳會主催の全國青年演武大會に於ては選手努力の功もなく、遂に昨年の如き始末に終つたのであります。

かくて二度の敗北に鑑み、九月早々より、来る十月廿二日の縣下大會には、と必死の猛練習をな

せし結果、縣下大會に於ては、柔道部は彼の強敵八商膳中をして、大いに苦しめ何れも五一五を以て勝を譲らず。遂に縣下中等學校の第三位を占むるに至つたのであります。

剣道部は年來の仇敵師範八商に、相不變七一二八一二の大スコアを以て大敗し、亦も末席を汚すに至つたのである。

思ふに柔道剣道は離るる能はざる一雙の武道なれば兩者相待つて良成績を得、本校の名を益々發揚し又選手は互に技倆に對して嫉妬心を抱かずお互兄弟の如く親しくし是が監督者も此の點に深く留意し、指導して戴きたい。剣道部の主將、小堀武夫君の理事並びに選手を辭退されたのも、畢竟其處に飽足らものがあつたからであります。我々應援團としても彼の手腕を信頼し彼こそは剣道部の選手として……と思つて居つたのに拘らず。以上の如き始末に終つた事は、實に殘念に堪へません。願くは剣道部に關係のある一切の諸君はよく注意されてこの不成績を挽回して欲しいものであります。

庭 球 部

本年の我が校庭球部は縣下の優勝に於て榮譽ある月桂冠を得るのは誠に喜ぶべきであるが、其の平生の練習振に於て將又其の態度に於て我々應援團の意に満たぬ點が多かつたのは甚だ遺憾に堪へぬ將來は是非共眞面目に且大に練習して本校の選手として辱づかしからぬものになつて貰ひ度いものである。

徒 步 部

徒步部選手の元氣と、熱心なプレバレー・ションとに對しては、我々應援團員としては一言も申分は無い。大津に開かれた陸上競技大會に於ても、縣下中等學校の第一位を占め大阪彦根間のマラソン競争の壯舉など實に感心する併し高田先生の良部長を失つた事は殘念である。此の盛大なる徒步部も高田先生と共に姿を没し衰微するかと心配で堪らない。

野 球 部

本年度の野球部は眞に本校創立以來ない強チームであらう。櫻花の爛漫として咲き乱る、花の四月より猛練習に猛練習を重ね七月に入つては鐵石も熔けんばかりの暑い／＼炎天で、必死の練習振を示し、眞の選手としての責を全うしたものである。

僕も放課後、ボール拾ひをして選手を援助したが、飛ぶ球、轉がる球、ひゞくバツタは皆僕を泣かしめたのである。肩は傷くなり、顔は黒くなり、身には汗、滝の如く。實に始めて選手の苦勞の一端を知つたのである。

併し、此の球を飛ばし、此のボールを轉がし、バツタを振り、疾風の如くグラウンドの端から端へと飛ぶ球を握り、或は肉彈にて打ち止めて、投げ選手の苦勞は如何許りであらう。かかる死物狂の練習の續く事約廿日選手の面は日本のインデヤンと化したのである。

京津の野球大海に於ては第二回第三回に於て、

三中京師を一撃の下に敗り、第四回戦に於ては昨年天下に名を爲せし仇敵、京一商を葬り、美事に

昨年の復讐を遂げたのである。

岐滋二縣聯合野球大會に於ては、八商、膳中を夫々十四△對○、十三對○にて塵殺し本校創立以來始めて此處に優勝し、次いで岐中主催の東海野球大會にても、岐中・岐師を殺して優勝し我校の名をして、遂に天下に發揚したのである。此の時我々六百の健兒は狂喜して選手を賞揚し心中より選手に對して謝意を表したのである。我々は本年始めて先輩の諸兄に答ふる束を得、後輩の諸子に大なる生きた教訓を能ふることを得たのである。それは他でもない「樂は苦の種、苦は樂の種」といふ片言である。意易けれども實行の極めて難き隻句である。どうか諸君此の名譽をして何時／＼まで金龜城下に留め、我が校の名をして永久に天下に揚げられん事を希望します。

× × × × × ×

如何によるのだ。一體聽衆のさわがしいのは辯士の下手なるにも原因するから、一概に聽衆の罪とするのは慘酷であらうが、やはり聽衆の不眞面目であるからである。ポート會でも運動會でも、出演者以外のものによつて、さう直接會の成功不成功に關係するものではあるまい。併し學藝會は何處までも聽衆が本位である。聽衆なしで會は開かれぬ。聽衆が眞面目ではなくては到底會は盛大裡に終ることが出來ない。野球部が榮れてきた、武術部が盛になつた。それらは選手が強く上手にさへなればよいのである。けれども我が學藝部はさうはないかない。たゞへ數十百名の蘇秦、張儀、デモスティネスが現れても、學藝部は榮らうと云ふ事が出來ない。わづかに雄辯家が一名しかなくとも聽衆の總てが眞面目になれば、學藝會は進歩した、即ち學藝部は盛になつたのである。此處に於て浪打先生の言葉は成程だうなづかれやう。私達理事はこれをモットーとして我が學藝部——學藝會の發達するのを望んだ。その方法として出來得る限り脳味噌をしほつて色々の事をした。あの第二回即

學藝部の理事より

理事 藤田正雄

私が初めて理事になつた時某先生から學藝會は學校當局から年中行事の中、最も困難な且奇怪な会の一として考へられてゐる。學藝會に成功したといふのは出演辯士の成績の良不良によらないで聽衆の靜かであるか、ないかによるのである」と聞いた。恐らくこれは事實である。聽衆のさわぐのは當然の事と考へてゐる位だから奇怪視せられるも尤である。私は直ちに前年度の部長浪打先生の言はれた言葉、「我が學藝部の盛になつたとき、その時こそは我が彦中の成績のあがる時である」。を憶ひ出した。さうして私達の責任の重いのを感じた。我が學藝部には短艇部や野球部、庭球部乃至角力部に於けるが如く、勝利を争ふといふ華々しい事がない。従つて學藝部の盛衰如何は斯くて如き種類に求めで知り得ない。學藝會の發達如何にあるのである。學藝會の發達は出演辯士の優劣に關せずして、某先生の説のやうに聽衆の靜寂

ち秋の學藝會に各組から一名の代表辯士を選出し演出してもらつたのは、少しば自分組の代表であるから聽衆が眞面目になるだらうといふ意見からであつた。

そもそも學藝會は我が校友會員總ての會である。然るに事實は何故か出演辯士と理事のみの學藝會で、他の會員はおつきあひに仕方なくきいてゐる體である。これは何が故であらうか。私をして曰はしめたならば、その理由は二つある。その一は運動會に於けるが如く、多數の人に出演してもらふ事が出來ない。從つて學藝會に親しみがない事これである。爲に多くの會員はほとんど無關係のやうに考へてゐるのであらう。私達理事は學員總てに配布した。或る者はこれを以て無意味と云ふか知れない。が私達理事はこの爲に少なからず骨を折つてゐる。會の當日前四五日は毎日おそくまで印刷屋の小僧さんをした印刷の如きも活版屋に頼めば何でもない事と知つてゐるが、それで

は價値がないと思ひ自ら爲したのである。わづかにハガキ一枚ではあるが會員諸君はそれをハガキ一枚とは見ないで、私達理事の勞を買つてほしい。而して少しでも學藝會を記念し親しみをもつて戴きたいものである。

これともう一つ、學藝部に會員總ての親しみ易くない所以は、學藝部には青年の血ををどらすに足るものがないからであらうたゞへ我が校の代表辯士を他へ派遣するとしても、他と覇を争ひはない。勝つたと言つては會員を喜ばし、負けたと言つては校友を泣かしめるやうに、直接校友を感動せしめない。従つて辯士を派遣する時も、他部の選手が、外征する時の如く、應援歌を歌つてもらひ、激勵の言葉をもらふ事さへ無いのである。

ある。

今私の頭の中には學藝部の歴史が浮んで來た。勿論古い昔の事は知らない。私が一年に入學した頃は學藝會が一年に一回限り開かれた。出演者は

果となる。併し私はこれを劣つてゐると言ひたくない。何となれば私達理事は徒に他校へ派遣するよりも、退いて我が校學藝會を盛大ならしめる方がよいと信じたからである。現在の我が校では未だ他へさ程多く派遣する必要を認めない。外まで手をのばすには内をこゝのへて然る後の問題である。部費のほんと總ては學藝會に使つた。賞品も昨年度よりは上等にし、或はハガキを配付するなど、種々の方法を以て會を盛にするに費用を用ひたので辯士を他へ出すには餘りに部費が少なすぎた。

さて此處に特筆すべき事がある。それは外でもないが、他校より辯士を招待した事である。これは我が彦中未曾有の事項で、これこそ私達本年度の理事の記憶するに値するものでせう。昨年度も縣下大會を開かんと種々に運動されたやうであつたけれど聽衆がさわがしいといふ理由の下にはねつけられた。私達もその志をついでどうかして縣下大會位開きたいものだとのぞんだ。春の學藝會は聽衆が割合に静かだつたが、未だ縣下大會を開

國漢擔任の先生から選び出され、その上原稿材料まで先生につくつともらつたと云ふ幼稚な状態だつたと思ふ。それが大正八年度になつて、出演希望者の自由申込みとなり、一年三回ある事となつた。(但し内一回は展覽會である)それから昨年度から出演者に成績を付し賞品を與ふる事となつたのである。一方これを出演者の數から見ると大正十年度が三十二回、大正八年の自由申込みで、第一回が十人、第二回が八人である。餘程此の年は前年より減じた、して見るどこの以前には強制的のものがあつたらしい。大正九年には新らしい試みとして劇が二幕あり、回数は二十七だつた。大正十年即ち昨年は春に二十五回、秋に二十四回あつて次第に出演者の増しつゝあるのを示してゐる。

次に私は本年度と昨年度とを比較して見よう。先づ春秋二回の學藝會に於ける出演辯士の數及びその成績は大差なしと云へよう。其の最も異なる所は他校への辯士派遣に就いてである。昨年度はそれが數回もあつたにかゝはらず、今年はわづか一回よりないからして本年はこの點に劣つてゐる結果

くだけには進んでゐないと許されなかつた。縣下大會の名義は許されなかつたが、それでも他校から辯士を招くことは許された。幸ひに滋賀師範と比叡山中學の二校から出演され、私達の志の一部分だけは達せられた次第である。

要するに我が學藝部は鈍いながら進んで來た。これは我田引水でも何でもない事實である。他部の如く急に發展もせない、又陥落もせない。聽衆が昨年より眞面目になり静かとなつた事は誰が見ても認められるのだが、また／＼不眞面目である。せめて閉會後に缺席を取られるといふやうな事がなくともよいだけに進むべきではあるまいか。

私達は少し許の進歩でもよいから、毎日毎年進歩せしめたい。それは顯微鏡でなくては見ぬ程のものであつても結構だ。一步々々進みゆかば何日かは彼岸に達するだらう。一步宛ふみかためた根據は強い。將來學藝部の理事となられる方は愚公の山を移す考でつとめてほしい。私達五年級の理事は間もなく別を告げて金龜城下を去らねばならない。併し私達は永遠に我が學藝部が發展す

ることを祈つてゐる。學藝部が辯論部と改稱され
て天下に雄飛する時を待つてゐる。

赤鬼六百の健兒諸君、私は浪打先生の語を再び
言ふ、我が學藝部の榮光なるとき、そのときこそは
眞に我が產中の天下に輝くときであるといふことを。

編輯を終へて

◇本誌原稿を遅くも十二月末迄に印刷屋に渡し得
るやうにと、二學期勿々掲示を出し原稿の募集に
かゝつたのであつたが、十一月末の期限が來ても
一向出す者がない。遅れては大變と、早速催促の
掲示を出す。仲々出さない。遂に最後催告の掲示
を出した。それでも尙所定の刻限迄に出さない者
があるといふ始末。これには同人もはゞく困ら
せられた。どうか次回からは是非共期限内に出し
て貰ひ度い。

◇本號は同人にとり、將又印刷屋にとつて、いは
ば名譽回復號ともいふべきもの、で大分諸種の方
面に注意し、又印刷屋にもよくいつて昨年のやう
一字を明くべし。

- 一、年級と姓名を明記すべし。匿名する
を許さず。
- 一、論政治に涉り他人の名譽を毀損
するものは採らず。
- 一、締切期限を確守すべし。

投 稿 規 定

大正十二年二月二十日印刷

滋賀縣彦根町

滋賀縣立彦根中學校々友會

岐阜縣大垣市郭町百五十三番戸

西濃印刷株式會社代表者

印刷者 河田貞次郎

印刷所 西濃印刷株式會社

な失態のない様吳々も注意して置いたが、果して
豫期の成果は得られて名譽回復をなし得るかどう
か、甚だ心もとない次第である。

◇原稿を一通り見終つて感じたことは、投稿者の
範圍のいつも極つて居る事で、下級に少くして上
級に多く、其の上級もほんの一部分に限つて居る
ことである。探否に頗着なく、ざしき多くの者
が投稿する事を希望して置く。

◇論説欄中の茂木若林兩先生の相對性原理と潛水
艦に關する解説は多大の時間と労力を拂はれたも
のであり、且頗る有益な材料であるから、根氣を
詰めて読んで貰ひ度い。

◇口繪へは本年優勝した各部選手の記念撮影を載
せる筈であつたが、經費の都合上、野球部丈を載
せる事とし、他は次號に譲る事とした。惡しから
ず諒承を願ひ度い。

◇本誌の内容に就ては尙掲ぐべき幾多の材料を残
して居る。又体裁に於ては改良すべき點が多くあ
りと信ずる。此等は漸次號を逐うて改めて行き度
いと思つて居る。

◇末後に投稿規定を載せて置いたから、次回から
は是非あれによつて投稿して貰ひ度い。

◇終に臨んで本誌に投稿せられた客員卒業生諸氏
並に校友諸君の勞に對し謹んで謝意を表します。

